

令和元年度第3回日進市障害者自立支援協議会議事要旨

日 時 令和2年2月13日(木) 午前10時～午後0時10分

場 所 日進市中央福祉センター2階多機能室

出席委員 平澤恵美、林和子、幸村朋子、浅井里美、木俣恵子、小林正信、  
木村文博、河端祐子、興柁精視、田中美保乃、松嶋弘治、箕浦伸一、  
野澤宏之、山本かおり、井上亘、山本健一、横山慎吾、梶浦慶子、巾  
和志、瀧本由美、川村享子、保竹さやか(敬称略)

欠席委員 西川恵子(敬称略)

アドバイザー 大谷真弘(尾張東部圏域地域アドバイザー)

事務局 杉田武史(介護福祉課長)、川邊雅巳(同課長補佐)、稲葉亮(同係長)、  
野村圭一(地域福祉課係長)、柏木晶(こども課長)、川上裕子(こども  
課係長)、須崎賢司(障害者福祉センター施設長)、梅村英子(障害  
者相談支援センター長)、西岡きくの(相談支援専門員)、山田紀子(同)、  
太田岬来(相談員)、森彩(同)

傍聴の可否 可

傍聴の有無 有3名

議事事項等

1 あいさつ

2 尾張東部圏域状況報告について

3 議 事

第6期日進市障害福祉計画・第2期日進市障害児福祉計画の策定等について

4 その他

| 発言者            | 内 容  |
|----------------|--|
|                | 1 あいさつ<br>2 資料確認<br>3 傍聴の有無の確認(申し出有り)  |
| 会 長            | 次第に沿って進行<br>アドバイザーより圏域の動向について情報提供を求める。   |
| ア ド バ イ<br>ザ ー | 2月5日に開催された、尾張東部圏域会議(相談支援事業所が参加)<br>での情報交換の報告をさせていただきます。<br><br>1 各市町が課題と感じていること<br>(1) 相談支援に関すること<br>事業所が不足傾向にあり、募集をしても相談員の応募が少ない。規<br>模の小さい事業所では、相談員の数が少ないため質の担保が難しいと<br>いう話がありました。 |

また、相談支援の多様化ということで、手帳を所持していない方の家族からの相談や高齢保護者と障害のある（あるであろう）子の世帯の実態把握と相談支援の周知が重要という話がありました。

他にも自立支援協議会の活用として、他市町で運営の検討も始められています。

#### (2) 地域生活支援拠点等の整備について

日進市は整備済みで、他市町は来年を目途に整備予定との説明がありました。面的な整備をしていく時に、人材育成や宿泊体験の機能を担う関係機関との連携方法が課題となっています。

#### (3) 社会資源の不足

車椅子を利用される方の入浴の場や余暇支援などの社会資源が少なく、日中一時支援もばらつきがあります。

移動に関しては多くの課題があり、市内巡回バスの縮小で移動手段がなくなってしまったという話が出ていました。

また、医療的ケアが必要な方の移動について、どのようなサービスを使っていけば良いかという話もありました。

市内の送迎については、送迎が必要な方が増えており、事業所の課題として話が出ていました。

グループホームは、体験利用の場が不足しており、共生型サービス事業所も制度はできたが増えていないと思います。

#### (4) 災害対策

各市町での協議が必要だという意見が多く、市役所の中でも各課に渡り協議が必要になっており、地域で支える仕組みを作るために福祉避難所の周知や設置訓練などが必要という意見や個別の避難計画の作成も必要という意見がありました。

#### (5) 医療的ケア児等への対応について

国や県の通知により、各市町で協議の場の設置に取り組んでいます。協議の場で何を協議するのか、コーディネーターの役割をどうしていくか、事業所や学校等の受け入れ体制整備ができていないなど、課題がたくさんあると思います。

#### (6) その他

不登校や引きこもりの方が福祉に繋がるケースも増え、関係機関の

|        |  |
|--------|--|
|        | <p>連携方法や、事業所の人材不足について、学生やシニアの方が活躍できるような仕組みがあるといいと思います。</p> <p><b>2 次年度に尾張東部圏域として取り組みたいこと</b></p> <p>相談支援事業所が協力して取り組んでいきたい課題として、発達障害やうつ病の方などからの卒業後の相談が増えており、圏域内の大学の相談窓口への周知や連携はどうかとの話がありました。</p> <p>長久手市は地域生活体験訓練事業として3か月ごとのグループホーム宿泊体験事業を実施していますが、単独では継続実施が難しいことから、他市町も含めて圏域で実施したいという意見がありました。</p> <p>圏域での研修会開催や情報交換の場の設置、医療的ケア児等への協議の場の設置や災害対策の情報共有の場があるといいとの意見が挙がっていました。</p> |
| 会 長    | 質疑・意見を求める。   |
| 委 員    | 車椅子の方の入浴する場が少ないとは、どのようなことでしょうか。  |
| アドバイザー | 豊明市は、車椅子の方が通所はできても入浴ができる事業所が少ないことや訪問入浴は各市町で回数が決められており、希望回数の入浴ができないという意見です。   |
| 委 員    | 事業所が少ないのか、ヘルパーが足りないのかどちらでしょうか。   |
| アドバイザー | <p>自宅や事業所それぞれで入浴希望はありますが、希望を選ぶことができず、入浴回数も限られているところが課題だと思います。</p> <p>ヘルパーについては、自宅入浴の場合、2名体制が必要になりますが、受け入れできる事業所も少ないと思います。</p>  |
| 委 員    | 長久手市が実施する地域生活体験訓練事業の対象者や内容を具体的に教えて下さい。   |
| アドバイザー | <p>今年度からの取り組みで、市内のグループホーム2か所で各1室を利用して実施されており、精神や知的の方が利用されています。3か月を1クールとして、全4クールで8名が体験できます。</p> <p>基幹相談支援センターが窓口となり、市役所に申請し体験者を決めてからグループホームと直接契約することになります。</p> <p>市は計画相談の単価で事業所に委託料を支払うことになっており、体験後に実施報告とフォローアップのための会議を行います。</p>  |
| 委 員    | 地域のグループホームは、ショートステイで緊急時利用のイメージがあるが、3か月の利用となると、ショート利用の枠は常に満室になっているということですか。   |
| アドバイザー | 事業として1年間開けておくことになりますので、その部屋に入所希望の方がみえてもお断りすることになりますが、緊急時については  |

|               |   |
|---------------|---|
|               | <p>市が違う事業を考えています。</p> <p>事業の利用希望者が満たない場合や、病院や施設からの地域移行希望者がいることを考えると、圏域の市町で実施できれば利用しやすいのではという意見がありました。</p>   |
| 委員            | <p>体験利用は、昼間の活動が保証されている方が対象になりますか。</p>   |
| アドバイザー        | <p>日中活動の場がある方や難しい方、グループホームに併せて新たに探す方など、色々な方を想定しています。</p>  |
| 会長            | <p>2 議事 第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画の策定等について説明を求める。</p>   |
| 事務局<br>(介護福祉) | <p>次期計画は令和3年からの3か年計画となり、前回の計画策定時と同様に、障害のある人などの生活状況やサービス利用の意向などを把握することを目的にアンケート調査を予定しています。</p> <p>サービス利用者・一般・事業所・支援団体用の4種類の予定で、サービス利用者が約900名、一般が約1,500名程度を予定しています。</p> <p>また、事業所はサービス利用がある事業所、支援団体は市内で活動されている当事者団体やボランティア団体等を予定しています。</p> <p>アンケート項目は、計画の継続性を保つ必要性から、前回からあまり変更していませんが、国の例示を参考に一部追加等しておりますので、ご意見等よろしくお願ひします。</p> <p>また、計画策定の体制についても、前回と同様に専門部会に計画策定を検討する部会を期間限定で立ち上げる予定ですが、部会委員の選任については事務局で考えさせていただく予定です。</p> |
| 委員            | <p>アンケートについて、国から案が示されたということですが、様式や設問について説明はありますか。また、計画検討部会委員に、公募の市民は入りますか。</p>  |
| 事務局<br>(介護福祉) | <p>アンケートの設問項目も含めて国から示されていますが、本市独自の設問もいくつか含まれています。</p> <p>検討部会委員は、自立支援協議会や専門部会から選任することとなり、公募の市民を新たに追加する予定はありません。</p>   |
| 委員            | <p>サービス利用者向けの場合、問15は福祉施設や病院にいる方への質問になっています。病院ではサービス利用はないと思いますが、入院中の方にも送られますか。また、地域移行のニーズとなると、精神科に入院または施設入所の方に限られると思います。</p>   |
| 事務局<br>(介護福祉) | <p>送付先は住民票の住所にしているため、地域移行については、また確認していきます。</p>  |
| 委員            | <p>サービス利用者向けの選択肢で、利用者には理解が難しい質問がたくさんあると思います。</p>  |

|               |  |
|---------------|--|
|               | 例えば、問 22 に「医療機関への受診」とありますが、病院や医者など簡単な表現に変えることが必要だと思います。  |
| 事務局<br>(介護福祉) | ご意見を参考に検討したいと思います。   |
| 委員            | 知的障害の重度の子どもがいますが、本人は理解できないと思います。あくまでも意見ですが、知的の方だけ別枠でも良いのではと思いました。あと、先ほどと同様に内容の読み取りが難しいと思います。   |
| 事務局<br>(介護福祉) | アンケート項目案のみ示していますので、実際に送付するアンケートはもう少し分かりやすい表現になると思いますが、設問内容も変更できるものは考えていきたいと思います。   |
| 委員            | <p>高齢の母や障害のある娘にアンケートが来ますが、項目が多く、難しく感じる質問が多いと思います。</p> <p>日中活動や就労についての問 20 で「どの程度外出しますか」とありますが、問 23 で「まったく外出しない方」以外には、どのような目的で外出するかを質問しています。</p> <p>訪問看護で自宅に伺う方で、病気等のため 20 から 40 年以上外出できない方もみえます。全く外出していない方にも聞いてみたい。</p> <p>介護保険法も障害者総合支援法もない時代の中で過ごされて、社会の中で孤立している方もみえます。色々な支援がある中で全く外出しない理由があると思いますが、そうした方が社会に出るという視点もあっても良いのではと思います。</p> <p>また、問 32 の「訪問系サービスを利用していますか。また、これから利用する予定はありますか」の補足で、①～⑤の項目ごとに「現在のサービス利用」と「今後 3 年以内の利用予定」のそれぞれで…と続いていると思いますが、分かりにくいと思います。</p> |
| 事務局<br>(介護福祉) | <p>全く外出しない方への質問については、国の指針で、めったに外出しない方への質問として記述があったので記載していますが、また検討させていただきます。</p> <p>問 32 については、実際のアンケートでは表をチェックする様式になっていますので、少し分かりやすくなっていると思います。</p>  |
| 委員            | <p>問 5、身体障害者手帳の主たる障害に○を 1 つとなっていますが、例えば全盲全聾の方はどこに丸をつけるのでしょうか。</p> <p>問 34 「日中活動系サービスを利用していますか」とありますが、コミュニケーション関係の手話通訳や盲聾の方の介助は含まれるのか。</p> <p>問 29 「障害のある人を支援するボランティア活動等について、知っている活動はありますか」とありますが、行動制約介助というボランティアがあるので、その他に記載するのでしょうか。</p>  |

|               |   |
|---------------|---|
| 事務局<br>(介護福祉) | <p>主たる障害については、全盲全聾の方が等級としてどちらも同じ場合、自身で選択いただくこととなりますが、一度検討します。</p> <p>手話通訳は地域生活支援事業になるので、具体的にサービス利用になったものを挙げていますが、手話通訳に関しても必要があれば載せていきたいと思います。</p>   |
| 委員            | <p>問3の性別ですが、性的指向の観点から問い方を考えていかなければならないと思っています。今回は、戸籍上の性をお答えくださいなど注釈があったほうが良いと思いました。戸籍上なのか自認している性について考えていきたいのか検討してもらいたいと思います。</p> <p>問16「地域で生活するためにどのような支援があればよいと思いますか」で、選択肢2の障害のある方に適した住居の確保という書き方だと、バリアフリー住宅というイメージだと思いますが、障害のある人が、自立しようとした時に住まいが借りられない、確保できないという問題もあると思いますので、ソフト面、差別についても配慮したほうが良いと思います。</p> <p>聞き方をもう少し変えたほうが良いということと、問50に連動しますが、権利擁護で「どんな場面でどのような差別や嫌な思いをされましたか」の選択肢で、住まいを探す時に入れたらどうかと思いました。</p> <p>問30「発達が気になる子どもや障害のある子どもが、幼稚園、保育所、学校などに通う上で、どのような支援が必要だと思いますか」で、通う時に一番困るのは送り迎えですので、移動支援、通学支援という選択肢を追加してほしいと思います。</p> |
| 事務局<br>(介護福祉) | <p>質問の追加や集計方法についても関係しますので、検討させていただきたいと思います。</p>   |
| 委員            | <p>知的の障害がある方は、保護者が回答すると思いますが、保護者と本人の感じていることは違うので、考えていただきたいと思います。保護者はグループホーム、本人は自宅希望という場合もあると思います。家で暮らすために必要なサービスの質問も出てくると思います。</p> <p>津久井やまゆり園では、慎重に本人の意思決定をサポートし、地域生活を勧めていきたいと話がされていましたが、そのように支援をしていきたいと思います。</p> <p>回答者が事業所の場合、グループホームの人に聞いてくださいと言添えるなどあればいいと思いました。</p>   |
| 会長            | <p>配布する前に本協議会で最終チェックする予定はありますか。</p>   |
| 事務局<br>(介護福祉) | <p>4月中旬には発送予定になっているため、協議会で最終案を確認してからの発送は、スケジュール的に難しくなっています。</p> <p>7月末までに集計等を行い、8月以降に計画書作成作業となります。</p>  |

|            |   |
|------------|---|
| <p>会 長</p> | <p>市で内容の協議をしていただくということでお願いします。<br/>第 7 期では、可能であれば検討部会でアンケート内容も検討できるといいと思います。<br/>障害種別ごとに分ける、利用者と保護者を別にする、児童は別にするなど、検討できるといいと思います。</p>   |
|            | <p>3 その他（グループワーク）</p> <p>テーマ：「委員が感じる日進市障害福祉の強みと課題について<br/>～課題の解決に向けて、自分達で何が出来るか～」</p> <p>上記テーマで、委員と事務局が 4 グループに分かれ、意見交換を実施した。（主な意見は以下のとおり）</p> <p>&lt;主な意見&gt;</p> <p><b>強みに思うこと</b></p> <p>&lt;日進市について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住みやすく規模が丁度いい大きさである。</li> <li>・自然が豊かで住みやすい。</li> <li>・子どもや学生が多く、高齢者が元気である。</li> <li>・市の財政状況が安定している。</li> <li>・駅が 3 か所ありバリアフリー化されている。</li> </ul> <p>&lt;教育機関&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校が増えており、特別支援学級が比較的多い。</li> <li>・小中学校で福祉実践教室が実施されている。</li> <li>・大学が多くあり、大学生のボランティアの活動が活発である。</li> </ul> <p>&lt;施設の充実&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者福祉センター、権利擁護支援センター等の福祉の公共施設が設置されている。</li> <li>・市内に事業所が整備されており、事業所同士のつながりがある。</li> <li>・通所事業所に送迎サービスがある。</li> </ul> <p>&lt;マンパワーが充実している&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人やボランティア団体が活動している。</li> <li>・学生ボランティアの活動がある。</li> </ul> <p>&lt;その他&gt;</p> |

|     |  |
|-----|--|
|     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者自立支援協議会や専門部会の活動が順調である。</li> <li>・ 子育て支援が充実している。</li> </ul> <p><b>課題に思うこと</b></p> <p>&lt;社会資源について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公営住宅がない。</li> <li>・ 病院や事業所の設置場所が偏っている。</li> <li>・ 地域移行の可能な受け皿が少ない。</li> <li>・ 地域を巻き込んだ障害者支援と理解が必要である。</li> <li>・ 事業所の人材が不足している。</li> <li>・ 市内にグループホームが不足している。</li> <li>・ 相談支援事業所の数が少ない。</li> <li>・ 空き家が多く、高齢者が増えている。</li> </ul> <p>&lt;支援体制&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 途切れのない支援体制やアウトリーチの仕組みが不足している。</li> <li>・ 障害者に関わる人材が増えない。</li> </ul> <p>&lt;サービスについて&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移動手段が公共交通機関だけでは不便である。</li> <li>・ (障害福祉サービスの) 移動支援サービスが充実していない。</li> <li>・ サービスの種類に偏りがある。</li> </ul> <p>&lt;災害時支援や対応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時の配慮が足りない。</li> <li>・ 障害児者の災害時一時避難所の周知が十分ではない。</li> <li>・ 視覚・聴覚障害者への情報保障が足りない。</li> </ul> <p>&lt;障害者雇用&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害のある方を雇用する企業や事業所等が少ない。</li> <li>・ 障害者の働く場所が少ない。</li> </ul> |
| 会 長 | <p>今後、またグループワークを行った時に、課題と感じたことが強みになっていればいいと感じています。また、このグループワークが協議会の今後を繋いで行ければと思います。</p>  |